

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 年 月
レジメン名	トリセノックス(寛解導入療法)		
疾患名	急性前骨髄球性白血病	適応の備考	投与開始時 WBC>20000/ μ L または APL細胞>5000/ μ L または プラストーマのある場合のみイタマイシンを併用
適応分類	寛解導入療法		
1コース日数	81 日間	総コース数	1 コース 催吐性リスク 中等度
抗がん剤投与量・投与日	トリセノックス0.15mg/kg day1-60(トリセノックスは、完全寛解まで 最大60日間)		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	~60	61	~81		
1	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	点滴静注																																	
2	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	点滴静注	トリセノックス注	0.15 mg / kg	2 時間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
投与時間は4時間まで延長可能																																		
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●																												
	点滴静注																																	
Rp.3の後、ルートをロックする																																		
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																													
	点滴静注	プロイメンド150mg	1 本 / body		●																													
5	主ルート	グラニセロン注ハッグ1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●	●																												
	点滴静注	デキサート1.65mg	3 本 / body		●	●																												
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分	●	●																												
	点滴静注	イタマイシン注 大塚蒸留水20mL	12 mg / m ² 1 本 / body		●	●																												
イタマイシン1Vあたり、注射用水5mLで溶解後必要量を採取																																		
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	点滴静注																																	

【投与上の注意】

- ・プロイメンドは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメンドは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・プロイメンドの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。